



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

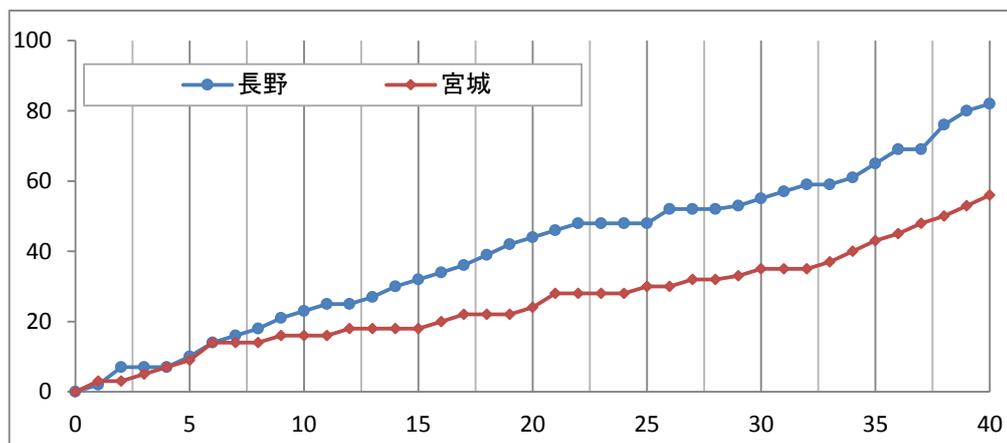
少年男子2回戦

主審 岩尾 圭治 (熊本)

副審 西島 詠治 (長崎)

長野 82 ○ 23 - 16
21 - 8
11 - 11
27 - 21
● 56 宮城

No. 19D-1 日時: 2014年10月19日(日) 10:00 会場: 長崎市民体育館



長野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山梨 歩 (C)	2	0	1	0	0	1	0
5	* 鶴田 美勇士	11	0	4	3	1	13	1
6	矢島 達也	16	2	5	0	2	2	0
7	竹田 寛人	2	0	1	0	1	0	0
8	瀧澤 賢志	0	0	0	0	0	0	2
9	* 笹倉 怜寿	23	0	11	1	1	7	6
10	石井 聖大	6	0	3	0	0	4	0
11	* 高橋 亮	13	3	2	0	1	2	3
12	* 林 瑛司	7	0	2	3	2	9	0
13	松本 陵雅	2	0	1	0	0	0	0
14	須崎 虎太郎	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	入野 貴幸							
合計		82	5	30	7	8	0	12

宮城

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	増子 優騎	0	0	0	0	2	4	3
5	* 大場 祐雅 (C)	3	1	0	0	1	4	3
6	* 佐藤 善亮	4	0	2	0	2	3	2
7	布田 孔明	0	0	0	0	0	1	0
8	* 今野 雄太	23	5	4	0	1	3	0
9	金田 直紘	0	0	0	0	1	0	0
10	* 針生 信洋	19	0	8	3	4	16	0
11	佐藤 颯哉	0	0	0	0	3	1	1
12	* 齋藤 琢	3	0	1	1	4	9	2
13	前田 怜緒	2	0	1	0	1	2	1
14	後藤 拓人	2	0	1	0	0	1	0
コーチ	阿部 昭宏							
合計		56	6	17	4	19	44	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

2回戦、長野県対宮城県の前試合。1Q、長野オールコート2-2-1プレスから2-3ゾーンディフェンス、宮城オールコートマンツーマンディフェンスで序盤から激しい攻防となる。長野は#4のドライブ、宮城は#8の3Pなどで点を取り合う。残り3分、宮城#10が3回目のファウルで交代。長野は#9のミドルシュートで加点し、23-16で1Q終了。2Q、宮城はメンバーチェンジで流れを変えようと試みるが、長野のゾーンディフェンスを攻めあぐね、なかなかシュートを打つことができない。長野は#9の1対1などで徐々に得点し、点差を広げていく。残り6分、宮城はディフェンスを2-1-2ゾーンディフェンスに切り替え、#10のリバウンドからのシュートで追い上げようとするが、長野も#6のジャンプシュートや3Pで得点し、44-24で前半終了。3Q、長野2-3ゾーンディフェンス、宮城オールコートマンツーマンディフェンスで変わらず。長野は#9が得点を重ね、宮城も#10の粘り強いゴール下で食い下がる互角の展開となり、55-35で3Q終了。4Qに入っても取っては取り返す激しい攻防が続き、宮城が#5と#8の3Pなどで追撃するが、長野も#6のミドルシュートなどで流れを渡さず点を取り合い82-56で長野が勝利した。両チームとも激しいディフェンスで最後まであきらめずボールを追う姿が印象的な見応えのあるゲームであった。

記者 吉野 聖司 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

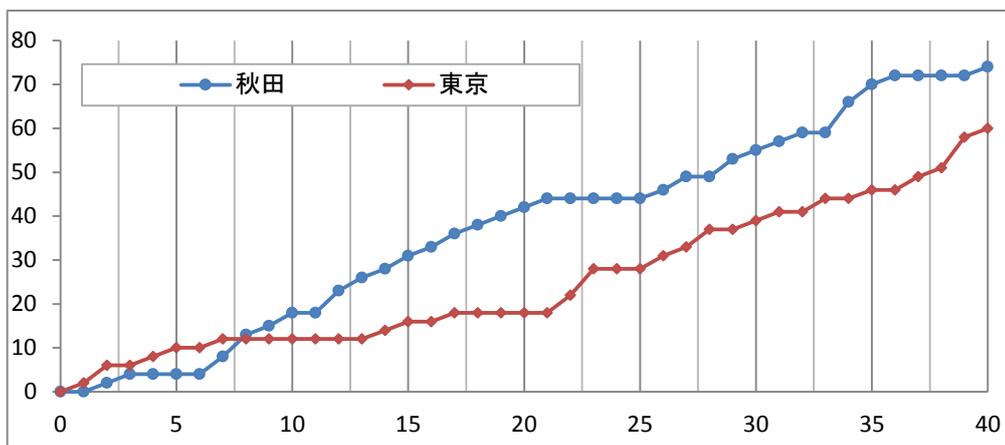
少年男子2回戦

秋田 74 ○ 60 ● 東京

主審 安西 郷史 (埼玉)
副審 山口 勝真 (長崎)

18	-	12
24	-	6
13	-	21
19	-	21
-	-	-

No. 19D-2 日時: 2014年10月19日(日) 11:45 会場: 長崎市民体育館



秋田

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 長谷川 暢 (C)	19	1	5	6	2	3	4
5	荒木 直	1	0	0	1	0	4	0
6	* 中村 碧杜	12	0	6	0	1	16	0
7	伊藤 秀太	9	1	3	0	3	5	4
8	盛實 海翔	0	0	0	0	0	0	0
9	* 小室 望海	12	1	4	1	0	6	1
10	斉藤 大輔	0	0	0	0	0	3	0
11	金久保 翔	0	0	0	0	0	1	0
12	* 畑澤 大地	13	3	2	0	0	3	1
13	鈴木 尚輝	3	0	1	1	0	1	0
14	* 河村 航亮	5	0	2	1	1	9	2
コーチ 佐々木 信吾						0		
合計		74	6	23	10	7	51	12

東京

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 伊藤 駿 (C)	2	0	1	0	2	2	4
5	山口 裕朗	2	0	1	0	0	0	0
6	塚田 涼斗	0	0	0	0	1	0	0
7	* 玉城 啓太	17	1	7	0	2	2	1
8	吉田 勇斗	0	0	0	0	1	7	2
9	新屋 広晃	0	0	0	0	0	2	0
10	* 多田 武史	15	1	6	0	3	5	0
11	ウイカ ケタ	0	0	0	0	0	0	0
12	* 胡 胤耀	8	0	3	2	3	7	0
13	根本 拓真	-	-	-	-	0	0	0
14	* テーブス 海	16	2	5	0	4	6	1
コーチ 成田 英二						0		
合計		60	4	23	2	16	31	8

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、秋田県対東京都。両チームマンツーマンで試合開始。最初にリズムをつかんだのは東京。#10の2P、#4のパスカットからの速攻などで4-10とリード。しかし、秋田はディフェンスから流れに乗り、#7の2Pや#9のバスケットカウントなどで4連続得点。残り2分で逆転に成功し、18-12で1Q終了。2Qでも秋田の勢いは止まらず#12の連続3Pなどで開始3分で23-12とリードを広げる。ここで、東京は前半2度目のタイムアウトをとるが、その後も秋田の流れを止めることができない。#6を中心にリバウンドを支配した秋田が早い展開で得点を重ね42-18で前半終了。

3Q東京はゾーンディフェンスに変更すると、#10の連続2P、#7の2Pの連続得点。さらにディフェンスをオールコートに広げると秋田のミスが目立ち3分間得点をする事ができない。東京は#7、#10の2Pなどで得点するが55-39で3Q終了。4Q、東京はオールコートプレスディフェンスで活路を見出そうとするが、秋田#4、#14の冷静なゲーム運びで最後までリズムを崩すことなく74-60で試合終了。

敗れはしたが、最後までオールコートディフェンスで果敢に戦った東京の粘りも称えたい。

記者 細田 正俊 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

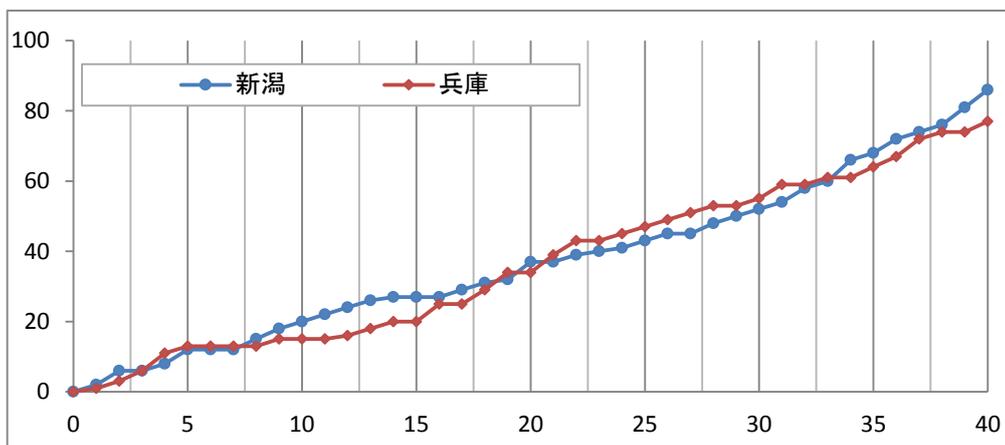
新潟 86 77 兵庫

主審 那須 弘幸(和歌山)

副審 橋本 洋(長崎)

20	—	15
17	—	19
15	—	21
34	—	22
—		

No. 19D-3 日時: 2014年10月19日(日) 13:30 会場: 長崎市民体育館



新潟

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 田中 功平 (C)	10	2	2	0	3	5	2
5	* 原 健太郎	5	1	1	0	0	6	2
6	* 高橋 悠樹	11	1	4	0	1	7	5
7	広井 夢輝	0	0	0	0	0	0	0
8	* 渡辺 大我	20	0	9	2	3	9	3
9	* 高橋 浩平	16	0	7	2	3	12	0
10	刘 子澍	3	0	1	1	1	0	0
11	五十嵐 泰心	3	0	1	1	1	1	0
12	杉谷 礼智	0	0	0	0	0	1	0
13	澤井 大輝	6	0	2	2	2	2	1
14	高橋 陸	12	1	1	7	1	4	5
コーチ	中屋 廣昭					0		
合計		86	5	28	15	15	47	18

兵庫

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 岩崎 秀飛 (C)	8	0	3	2	4	2	6
5	奥野 聖晃	-	-	-	-	-	-	-
6	岸 功一	9	1	3	0	4	7	0
7	* 肥後 将俊	22	0	10	2	4	4	1
8	* 蔡 景多	9	1	3	0	1	1	0
9	* 中野 司	16	2	4	2	1	8	0
10	* 金 剛 鉉	11	0	4	3	3	11	2
11	吉岡 力良	0	0	0	0	2	0	0
12	鶴本 哲太	2	0	0	2	1	7	2
13	小西 恭平	-	-	-	-	-	-	-
14	中島 智紀	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	初谷 洋志					0		
合計		77	4	27	11	20	40	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

2回戦、新潟県対兵庫県。新潟マンツーマン、兵庫1-1-3のゾーンでスタート。立ち上がり新潟はインサイド中心で加点、兵庫はパッシングからのドライブイン、ジャンプシュートで加点していく。残り2分、新潟#4の3Pで15-13と逆転。更に#6の3P、#8の2Pなどで加点し、20-15新潟リードで1Q終了。2Q、新潟はドライブイン、合わせを利用して加点。兵庫は速攻から加点する。新潟#14のドライブインで29-20となった残り4分、兵庫1回目のタイムアウト。その後、兵庫は#10、#6が連続得点し、追いかける。残り2分、兵庫#8の3Pで逆転。しかし、新潟が終了間際に連続得点し、37-34、新潟リードで前半終了。

3Q、立ち上がり、兵庫#9の3P、#7の速攻で連続得点。新潟は#9、#8の高さを生かして加点する。兵庫はオールコートのゾーンプレスを織り交ぜ、ディフェンスを強化し、#4のスティールからのシュートで45-51、兵庫リードとなった残り3分、新潟1回目のタイムアウト。その後、新潟は#5の速攻からのシュートなどで追いかける、52-55、兵庫逆転で3Q終了。4Q、開始早々兵庫が#10、#9が連続得点、52-59。新潟たまたまタイムアウト。その後、新潟は#8、#9の連続得点、#4の2P、3Pで逆転。更に#14の3Pで66-61、兵庫後半1回目のタイムアウト。兵庫は残り4分#7のドライブインからのバスケットカウント、#9の2Pで追いかける。残り2分、76-72、兵庫後半2回目のタイムアウト。その後、兵庫はオールコートのゾーンプレスで厳しく守る。しかし、新潟も#8がインサイドで相手のファウルを誘う。残り2分、新潟が#8からのパスを#9がゴール下で合わせ81-74。残り1分、兵庫最後のタイムアウト。兵庫はファウルゲームに持ち込むが、新潟は落ち着いて試合運び、86-77新潟が勝利した。新潟の高さと速さ、兵庫の速さと強さが光る素晴らしい試合であった。

© 2014 長崎県バスケットボール協会 中村 慎治 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

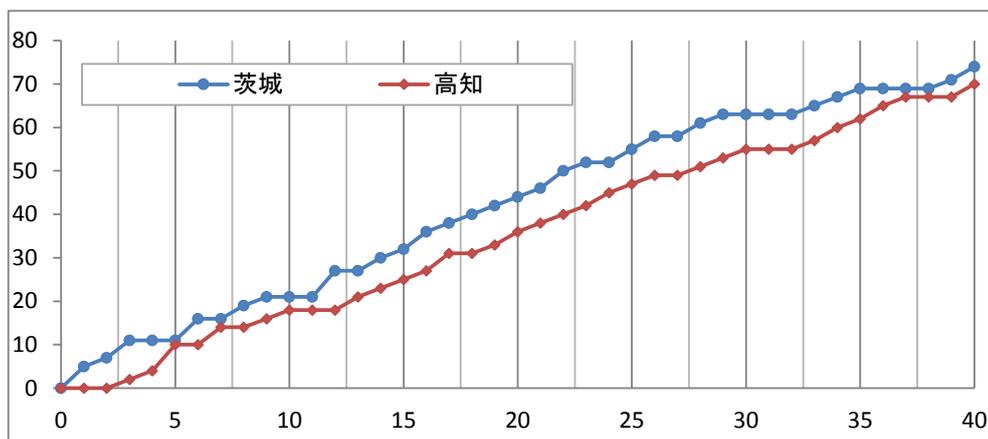
茨城 74 ○ 70 ● 高知

主審 藤垣 庸二(宮城)

副審 松永 雄平(長崎)

21 - 18
23 - 18
19 - 19
11 - 15
-

No. 19D-4 日時: 2014年10月19日(日) 15:15 会場: 長崎市民体育館



茨城

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 本村 亮輔 (C)	33	5	7	4	3	4	0
5	* 青木 裕哉	10	0	4	2	3	6	5
6	軍司 泰人	0	0	0	0	0	6	1
7	野口 勇樹	3	0	0	3	1	2	1
8	松脇 圭志	2	0	1	0	5	3	1
9	* 山崎 純	6	0	1	4	3	5	6
10	杉本 天昇	-	-	-	-	-	-	-
11	黒田 将弘	-	-	-	-	-	-	-
12	菅原 暉	-	-	-	-	-	-	-
13	* 松本 紘希	14	0	7	0	3	12	0
14	* 平岩 玄	6	0	2	2	3	8	1
コーチ	川崎 秀典					0		
合計		74	5	22	15	21	46	15

高知

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	大瀬 寛太	0	0	0	0	2	0	0
5	* 永田 祐也	3	0	1	1	4	1	0
6	松井 風太	3	1	0	0	4	2	3
7	山崎 巧	0	0	0	0	1	1	0
8	大塚 琳平	-	-	-	-	-	-	-
9	* 澤近 智也 (C)	19	0	8	3	1	4	4
10	* 森下 魁	17	0	8	1	4	13	0
11	濱田 直希	0	0	0	0	0	0	0
12	OUMA ERICK JAGANYI	11	1	4	0	3	13	0
13	* 村山 龍之介	5	0	1	3	3	5	2
14	* AYUEN PETER MAJYOK	12	0	6	0	0	6	0
コーチ	瀬田 幸穂					0		
合計		70	2	28	8	22	45	9

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、茨城県対高知県。1Q、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。茨城はエース#4の連続得点などでリードするが、高知も高さを活かした攻めで追い上げ、21-18で1Q終了。2Q、高知は#9の連続得点で追撃するが、茨城も#5のバスケットカウントなどで逆転を許さない。残り4分、高知がタイムアウト。その後、茨城がゾーンプレスを仕掛けるが、高知もインサイドからの得点を重ね踏ん張り、44-36で前半を折り返す。3Q、茨城は高知のインサイドを、高知は茨城#4を抑えようと懸命なディフェンスを見せる。しかし互いにそれを封じ切ることができず、点差は大きく動かない。63-55で3Qを終える。4Q開始2分、茨城の#4が負傷交代。会場がどよめく中、直後に茨城#13が連続得点をあげる。残り6分、茨城がタイムアウト。その後、高知が連続得点をあげ、徐々に差を詰める。残り3分、茨城#8が5つめのファウルを犯し退場。茨城は即座にタイムアウト。緊迫した展開の中、茨城#14がフリースローを獲得。これを2本とも決め、高知がタイムアウト。高知はインサイドから果敢に攻めるもリングに嫌われ試合終了。74-70で茨城が勝利を収めた。

敗れはしたものの、高知の力強いインサイドプレーが印象的な一戦であった。

記事者 植島 雄飛 (所属) 長崎県バスケットボール協会